

岩手県感染症週報

令和2年第18週（4月27日～5月3日）

岩手県感染症情報センター

第18週の概要

- 1 類感染症 ・ 患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・ 患者発生の報告はありませんでした。
- 3 類感染症 ・ 患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症

- ・ レジオネラ症の報告が県央地区から1例ありました。患者は90歳代の女性です。
- ・ つつが虫病の報告が、秋田県で1例ありました。これから、田畑での農作業など、野外での活動が増える時期を迎えることから、つつが虫病等のダニが媒介する感染症に注意が必要です。野外で活動の際には、肌の露出を少なくし、ディートやイカリジンなどの有効成分を含む虫よけ剤を使用する、帰宅後はすぐに入浴し衣服は洗濯するなど、ダニに咬まれない対策が重要です。

- 5 類感染症（全数把握対象疾患） ・ 患者発生の報告はありませんでした。

- 5 類感染症（定点把握対象疾患）

指定感染症

- ・ 新型コロナウイルス感染症の県の対応は岩手県ホームページとLINEアカウント（ID:@iwatevscovid19、QRコードから友達追加が可能です。）で確認することができます。発熱等の風邪症状がある場合は出勤や外出を控えること、感染が疑われる症状が出た場合には保健所に相談してから医療機関を受診することが、感染を拡大させないために重要です。

新型コロナウイルス感染症に関する情報＜岩手県＞（各保健所の連絡先）

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/kenkou/jouhou/1026260.html>

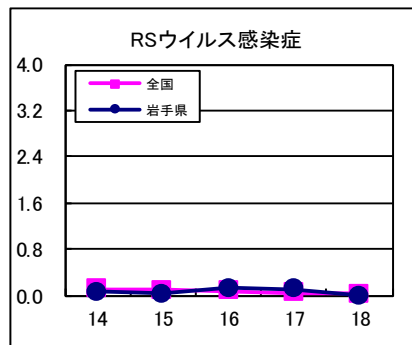
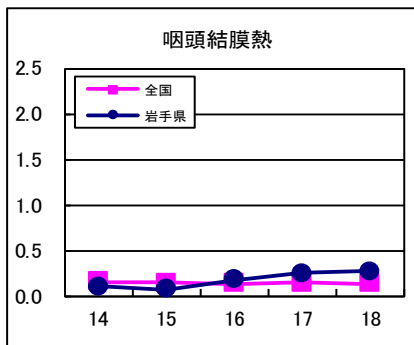
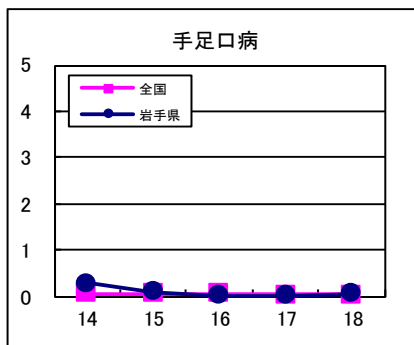
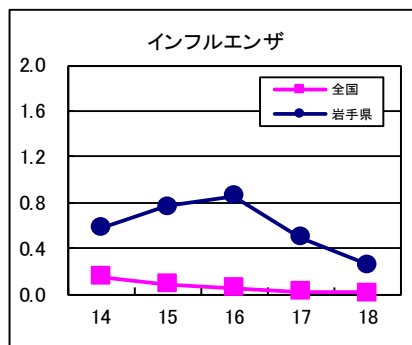
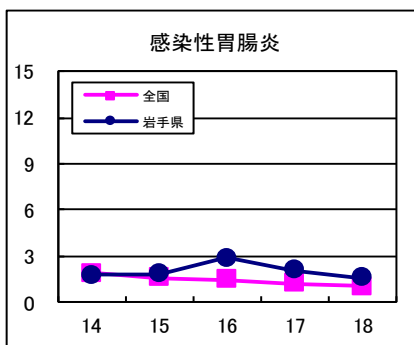
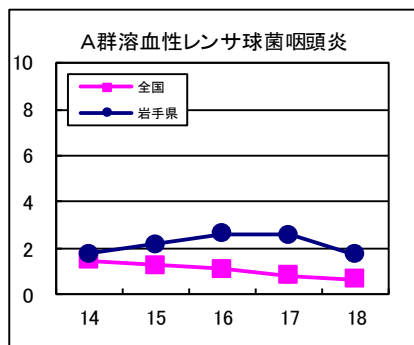
- ・ 県は緊急事態宣言の延長を受け、引き続き、不要不急の旅行や帰省による他の都道府県との往来は、極力控えるよう呼び掛けています。特定警戒都道府県からの来県・帰県者には、来県後2週間、特に慎重な行動をお願いしています。
- ・ 感染症予防には、手洗いと咳エチケットにより手指の汚染と病原体の飛散を防ぐことが重要です。さらに、感染リスクの高まる密閉・密集・密接を避けること、病原体を体内に取り込まないよう顔の周りは不用意に触らないことが重要です。

「岩手県-新型コロナ対策
パーソナルサポート」
(@iwatevscovid19)
ID検索またはQRコードから
友達追加



最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

※2018年1月1日より百日咳が5類感染症（定点把握疾患）から5類感染症（全数把握疾患）へ変更されました。
 ※2013年第42週より感染性胃腸炎（ロタウイルス）が定点把握対象疾病となりました。

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		14	15	16	17	18		
インフルエンザ	岩手県	0.58	0.77	0.86	0.50	0.26	↘	☆
	全国	0.15	0.09	0.05	0.02	0.01		
RSウイルス感染症	岩手県	0.05	0.02	0.12	0.10	0.00	→	
	全国	0.11	0.09	0.08	0.04	0.02		
咽頭結膜熱	岩手県	0.10	0.07	0.17	0.24	0.27	→	☆
	全国	0.15	0.14	0.13	0.14	0.13		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.76	2.15	2.61	2.56	1.71	↘	☆
	全国	1.47	1.26	1.09	0.82	0.64		
感染性胃腸炎	岩手県	1.80	1.83	2.90	2.10	1.61	↘	☆
	全国	1.87	1.61	1.48	1.20	1.03		
水痘	岩手県	0.02	0.15	0.10	0.07	0.17	→	☆
	全国	0.20	0.17	0.15	0.11	0.11		
手足口病	岩手県	0.27	0.10	0.02	0.02	0.05	→	
	全国	0.06	0.05	0.05	0.03	0.04		
伝染性紅斑	岩手県	0.07	0.10	0.12	0.07	0.07	→	
	全国	0.17	0.16	0.12	0.08	0.09		
突発性発疹	岩手県	0.29	0.27	0.24	0.66	0.49	→	☆
	全国	0.32	0.34	0.32	0.36	0.32		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.00	0.02	0.00	0.05	0.00	→	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.05	0.00	0.02	0.12	0.05	→	
	全国	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04		
急性出血性結膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00		
流行性角結膜炎	岩手県	0.71	0.57	0.14	0.07	0.36	→	☆
	全国	0.26	0.23	0.19	0.17	0.12		
細菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.03	0.01	0.03	0.02	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.16	0.16	0.21	0.21	0.16	→	☆
	全国	0.22	0.23	0.18	0.23	0.11		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
インフルエンザ（入院患者） ※報告数であることに注意	岩手県	1	2	3	2	0		
	全国	11	11	9	5	3		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ☆：患者が発生しています
- ☆☆：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

（患者発生数）

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		14	15	16	17	18		18	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核（ ）内は潜在性結核感染症患者再掲	1 (1)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	33 (18)	206	5655
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群（MERS）	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H7N9）	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	39
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	1	0	0	4	14	345
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	16
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	6
四類 感染症	E型肝炎	0	0	1	0	0	1	8	197
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	3	50
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	7
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	3
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	0	0	0	0	0	0	2	13
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	2	66
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	40
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	7	25
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	11
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	1	1	0	1	4	18	453
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県						全国	
		(週) 14	15	16	17	18	累計	18	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	1	0	0	0	2	9	211
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	4	89
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	3	0	4	10	485
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	9
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	0	1	257
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	39
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	4	6	296
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	7	308
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	13
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	2	2	128
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	10
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	1	0	6	11	816
	水痘（入院例）	0	0	0	0	0	0	2	128
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	1	0	0	3	39	1781
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	3	39
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	30
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	41
	百日咳	0	0	1	0	0	11	30	2324
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	75
	麻しん	0	0	0	0	0	0	0	9
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	3
※	新型コロナウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	1218	14600

※指定感染症として新型コロナウイルス感染症（令和2年2月1日～）

今注目の感染症

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は細菌やウイルス、寄生虫など多種多様な原因によっておこる胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年では、流行の前半ではノロウイルスが、後半ではロタウイルスが患者から多く検出されています。

例年、感染性胃腸炎の報告数は、12月～2月頃が一番多いですが、6月頃まで報告が多い状態が続くこともあり、今後の発生の動向に注意が必要です。

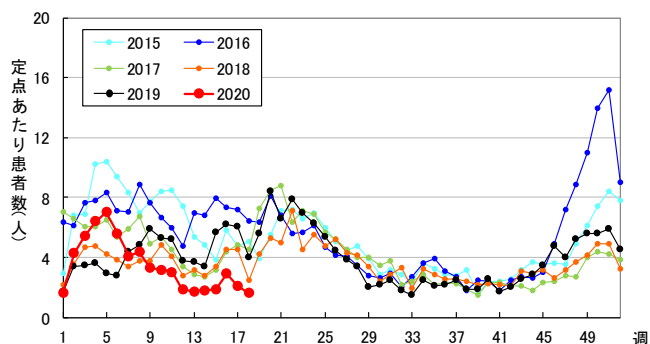
【参考】・ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

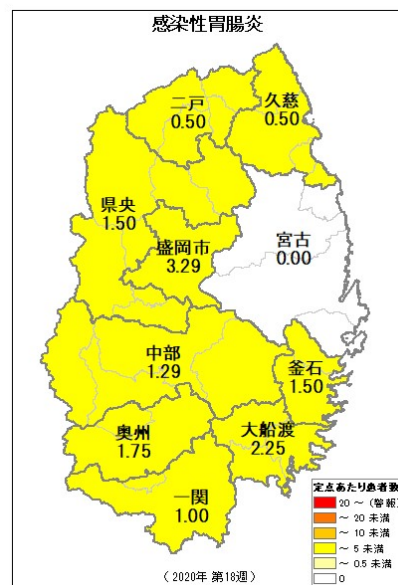
・感染性胃腸炎とは（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>

感染性胃腸炎、岩手県
(2015-2020)



岩手県における感染性胃腸炎週別患者報告数（2015年～2020年第18週）



第18週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報（行政区画データ）」をもとに岩手県が編集・加工した。
※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）を使用した。（承認番号 平29情使、第675号）

今注目の感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の新型コロナウイルス※1による急性呼吸器症候群です。2020年2月1日に指定感染症※2となりました。

「中華人民共和国（以下、中国）湖北省武漢市保健衛生委員会によると、2019年12月以降、同市で原因不明の肺炎患者が発生しており、2020年1月7日には中国当局が新種のコロナウイルスを検出した。」と世界保健機構（WHO）が発表しました。

また、WHOは、2020年1月31日に、新型コロナウイルス感染症の発生状況について「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC：Public Health Emergency of International Concern）」を宣言し、同3月11日には、「パンデミックといえる」との認識を示しました。

国内では、都市部を中心に感染者数が急増し、医療体制がひっ迫しつつある地域が出てきている状況を鑑み、同4月7日に7都府県を、16日には全都道府県を対象に緊急事態宣言が発出されています。

岩手県は、他の都道府県との往来および特定警戒都道府県からの帰県・来県後2週間の平日夜間や週末の外出について自粛するよう呼び掛けています。5月11日現在、岩手県での届出はありませんが、「3つの密」（換気の悪い密閉空間、人が密集している、近距離での会話や発声が行われる）を、徹底して避けることが求められています。今までと同様に、咳エチケットや手洗いなど普段からの感染症対策に努めていただくとともに、「3つの密」を避けるようお願いいたします。

また、岩手県では、各保健所及び県庁医療政策室に、電話相談窓口として「帰国者・接触者相談センター」を設置しています。次の症状がある方は、ご相談ください。

- ・息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
（重症化しやすい方：高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患等の基礎疾患がある、透析を受けている、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）
- ・上記以外の方で発熱や咳など、比較的軽い風邪の症状が続く場合
詳しくは岩手県の新型コロナウイルス感染症のホームページへ↓

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/kenkou/jouhou/1026260.html>

LINE公式アカウント「岩手県－新型コロナ対策パーソナルサポート」が開設されました。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/seido/1029518.html>

新型コロナウイルス感染症の最新情報については、厚生労働省及び国立感染症研究所のホームページで随時更新されています。ご確認をお願いいたします。

◇参考 新型コロナウイルス感染症について－厚生労働省－

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルス（2019-nCoV）関連情報について－国立感染症研究所－

<https://www.niid.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>

※1 新型コロナウイルス：ベータコロナウイルス属のコロナウイルスで令和二年一月に中国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限りします。

※2 指定感染症：感染症法で規定された2類感染症と同等の措置（感染拡大に防止に必要な保健所長による入院措置や就業制限など）が可能となります。



友達追加方法

①名前「岩手県－新型コロナ対策パーソナルサポート」で検索

②「@iwatevscovid19」でID検索

③QRコードから追加



今注目の感染症（つづき）

つつが虫病

つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシの幼虫に咬まれることで感染します。潜伏期間は5～15日間で、主な症状は、高熱（38～40℃）、発疹、頭痛で、ツツガムシによる刺咬部に1cmほどの大きなカサブタがあることが特徴です。つつが虫病は、治療が遅れることで重症化・死亡することもあるため、疑わしい症状が出た際は早期に受診し、野外活動（農作業や山菜取り、山や河川でのレジャー）について医師に伝えることが重要です。

全国的には5～6月と11～12月に患者が増加しますが、東北では雪解け後の5～6月に患者が多くなります。2019年、岩手県では報告がありませんでしたが、東北6県では41例の報告があり、秋田県では死者も出ました。2020年第17週現在、東北ではすでに5例の報告があり、野外活動の際には特に注意が必要な感染症です。

ツツガムシは、ダニの一種で、野山、田畑および河川敷に生息しています。病原体を持ったツツガムシの幼虫が衣服の隙間等から体表面の柔らかい部位（わきの下、内股、陰部、下腹部など）にたどり着き、体液を吸うことで感染します。ツツガムシの幼虫は0.2mm程度と小さく、存在に気づくことは困難であること、ツツガムシの幼虫が取り付いてから刺咬するまでに6時間以上かかるとされていることから、吸着を防ぐことが最も重要です。

具体的には、野外活動の際に

- ・長袖、長ズボンに足首までを覆う靴を履き、素肌をさらさないこと
 - ・帰宅後はすぐに入浴・洗濯をすること
 - ・ディートまたはイカリジンを含有した虫よけ剤を使うこと
- などです。

【参考】

- ・ツツガムシ病とは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/436-tsutsugamushi.html>
- ・つつが虫病に注意しましょう（秋田県）
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/977>
- ・つつが虫病のしおり（秋田県医師会）
http://www.akita.med.or.jp/_app/webroot/js/kcfinder/upload/files/shiori27.pdf

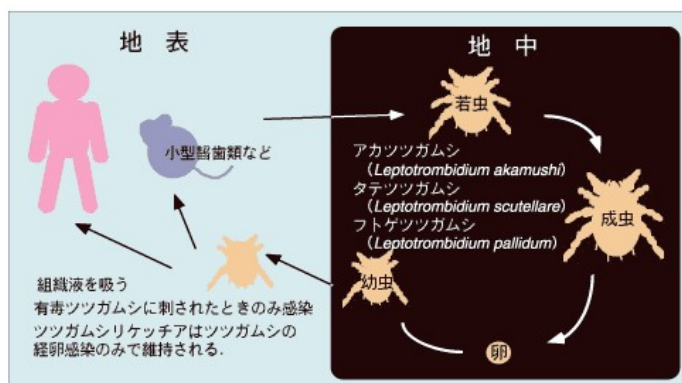


図1. ツツガムシの生活環
（国立感染症研究所HPより）

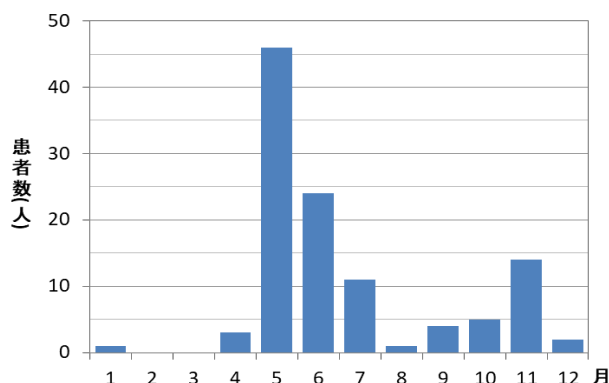


図2. 岩手県における月別つつが虫病届出数
（1999-2020年）

今注目の感染症（つづき）

風しん

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる、発熱、発疹、リンパ節の腫脹を特徴とする急性の発疹性感染症です。風しんウイルスは、患者の飛沫（唾液のしぶき）などによりヒトからヒトへ感染します。潜伏期間は2週間程度で、発疹が出る前後1週間位がヒトへの感染力があるとされています。風しんに免疫を持たない妊婦の方が妊娠第20週頃までに感染すると、「先天性風しん症候群」という目や心臓、耳などに障害を持つ子供が生まれる可能性があり、妊婦への感染を防止することが重要です。

全国では、2018年第30週以降、関東地方で報告数が大幅に増加し、2018年の累積報告数は2,946人、2019年の累積報告数は2,306人と全国流行があった2013年（14,348人）に次いで2番目と3番目に多い報告数となりました。2020年は第17週までに75人が報告されています。男性の報告数（57人）が女性の報告数（18人）の約3.2倍となっており、今回の流行は、風しんの抗体を保有していない30～50代の男性で感染が拡大しているとみられます。

岩手県では、全数把握疾患となった2008年以降、2020年第18週までに23人が報告されています。全国流行があった2013年には9人の報告がありました。

予防にはワクチン接種が最も効果的です。2回の定期予防接種（1歳児と小学校入学前1年間）を徹底しましょう。また、2021年度末までの期間に限り、これまで風しんの定期接種を受ける機会のなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性（現在39～56歳）が定期予防接種の対象者として追加されました（図3）。また、妊婦への感染を防止するため、予防接種歴や抗体陽性が確認できない「妊婦の夫、子どもや同居家族」、「妊娠希望者や妊娠の可能性が高い女性」の方は、任意で予防接種を受けることが推奨されます。

【参考】・風疹とは（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/430-rubella-intro.html>

・風疹急増に関する疫学情報：2020年4月30日現在（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/2020/rubella200430.pdf>

・先天性風しん症候群（CRS）の報告：2020年1月22日現在（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/700-idsc/8588-rubella-crs.html>

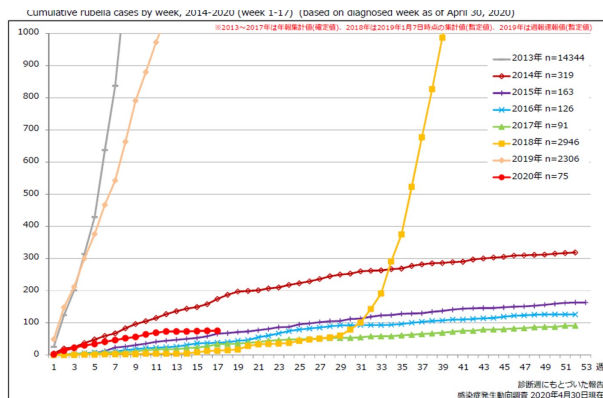


図1 全国における風しん累積報告数の推移（2013～2020年第17週）（国立感染症研究所HPより）

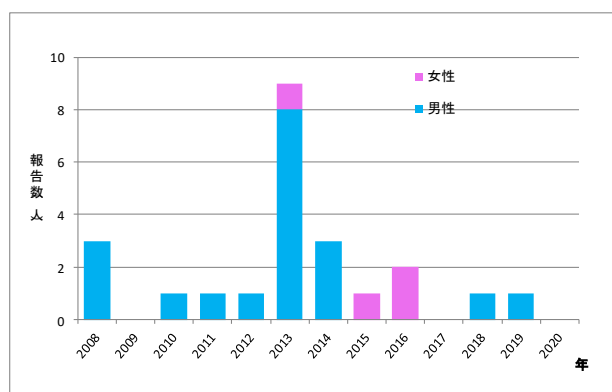


図2 岩手県における年別・性別風しん報告数（2008～2020年第18週）



図3 風しん含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係（令和2(2020)年4月1日時点）（国立感染症研究所HPより）

集団感染情報

○この週は集団感染情報はあります。



病原体検出情報

- ・ 不明熱の患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトヘルペスウイルス6型を1件検出しました。
- ・ 不明発疹症の患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトヘルペスウイルス6型を1件検出しました。
- ・ 水痘の患者の咽頭ぬぐい液から、水痘・帯状疱疹ウイルスを1件検出しました。
- ・ 口内炎・胃腸炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトコロナウイルス（229E）を1件検出しました。
- ・ 歯肉炎の患者の咽頭ぬぐい液から、単純ヘルペスウイルス1型を1件検出しました。

医療機関からの情報

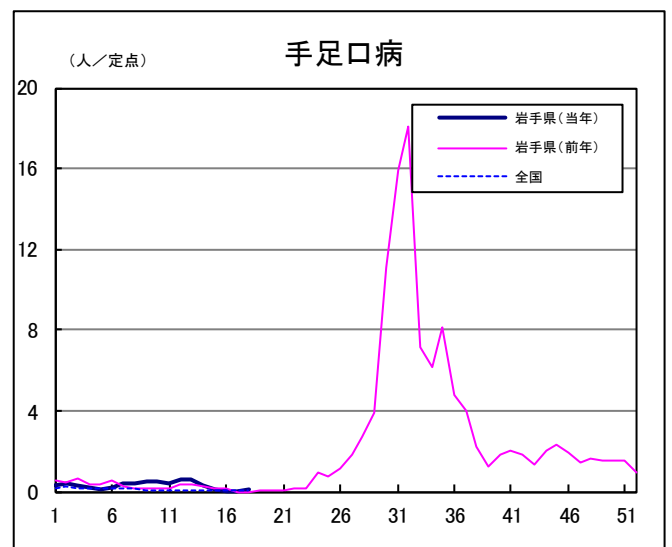
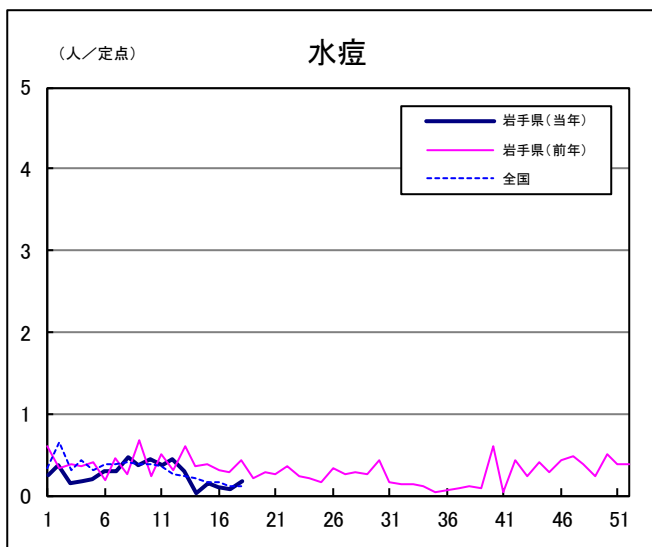
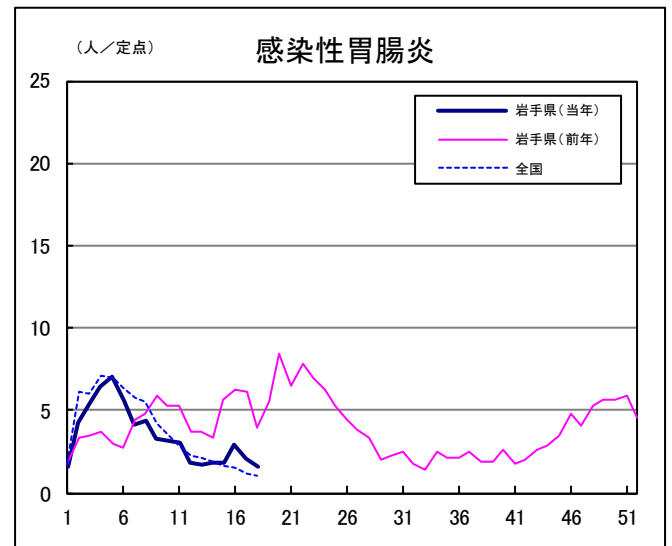
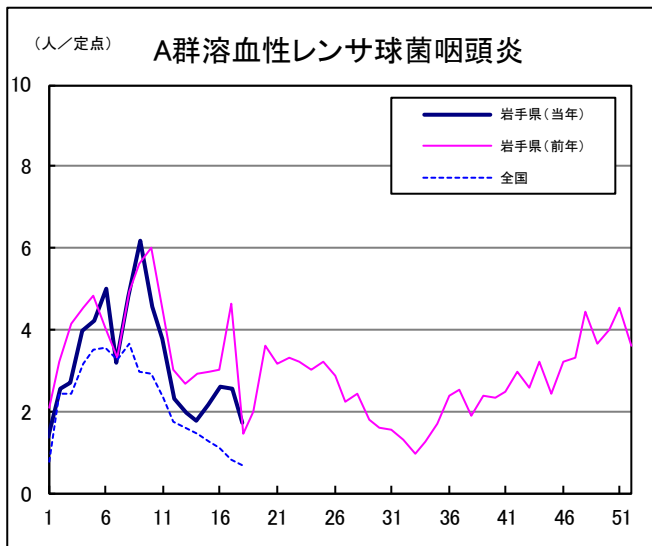
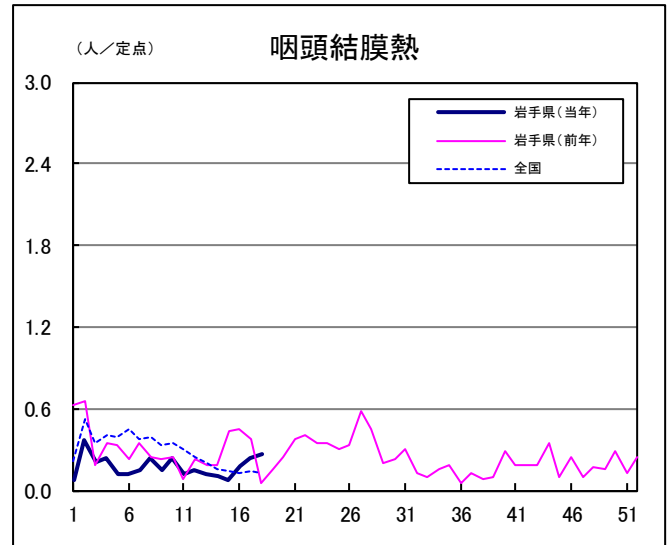
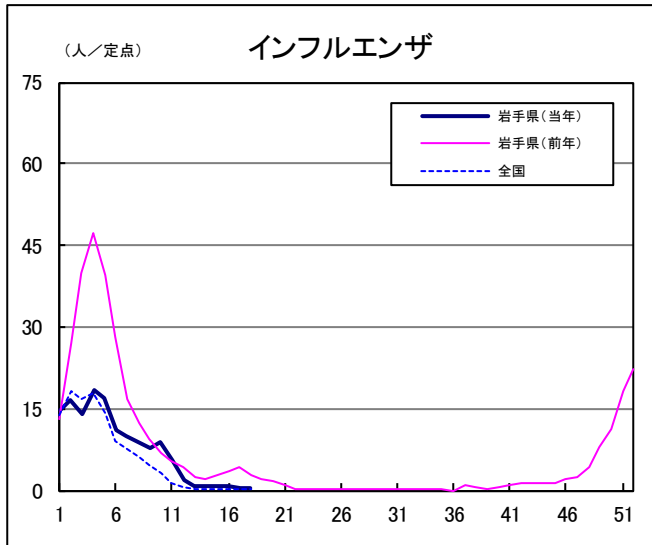
- ・ この週には医療機関からの情報はあります。

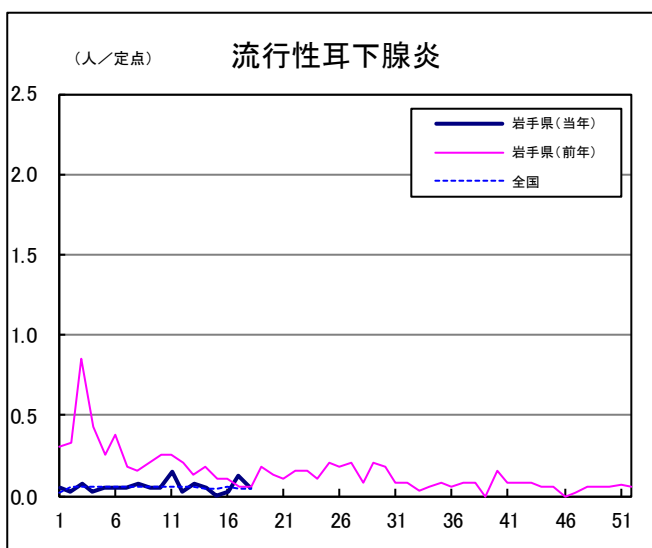
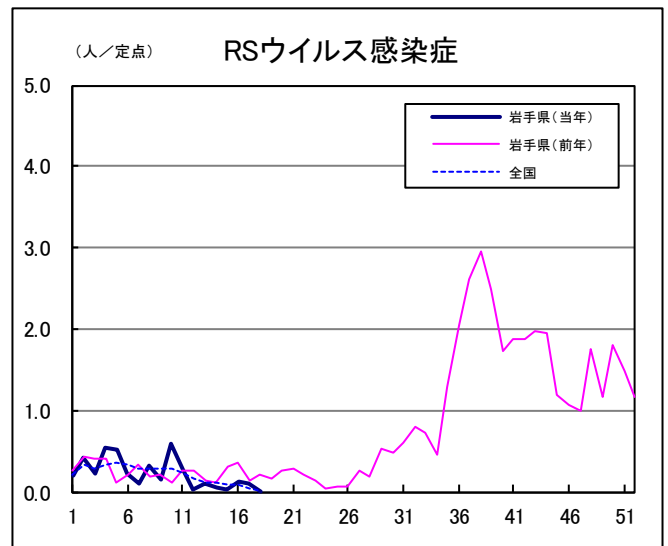
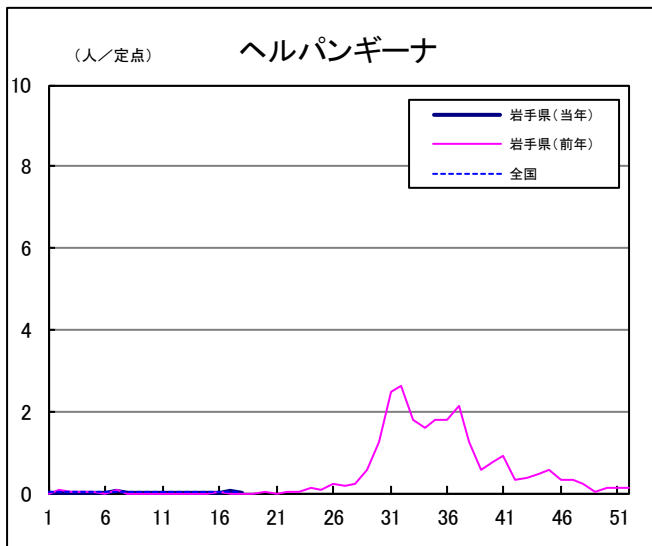
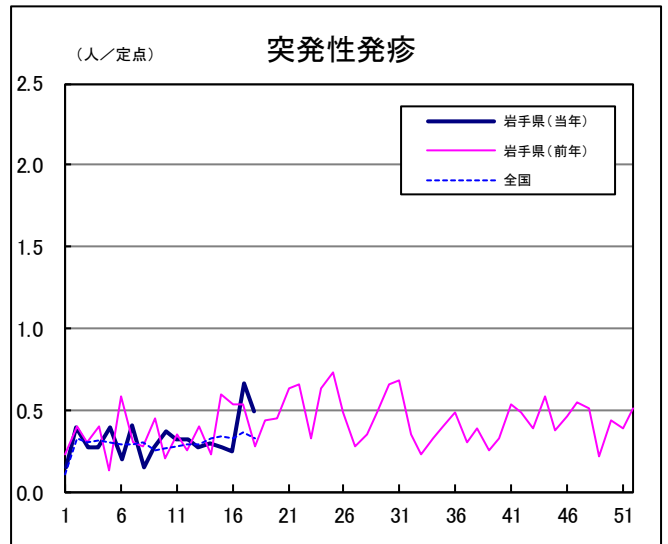
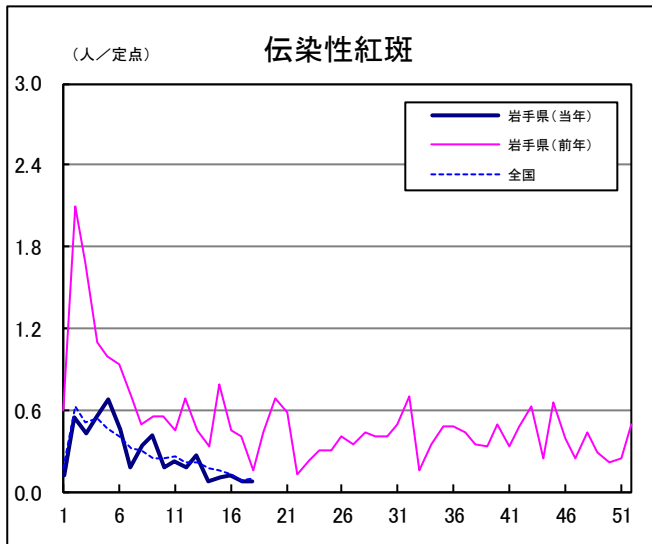
Q & A

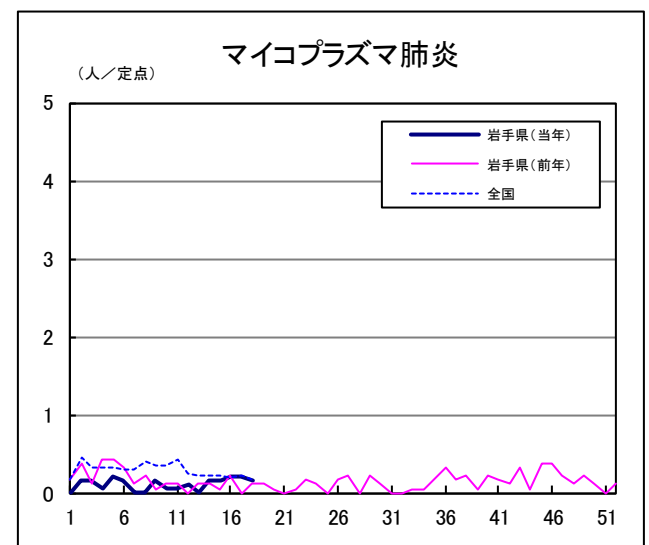
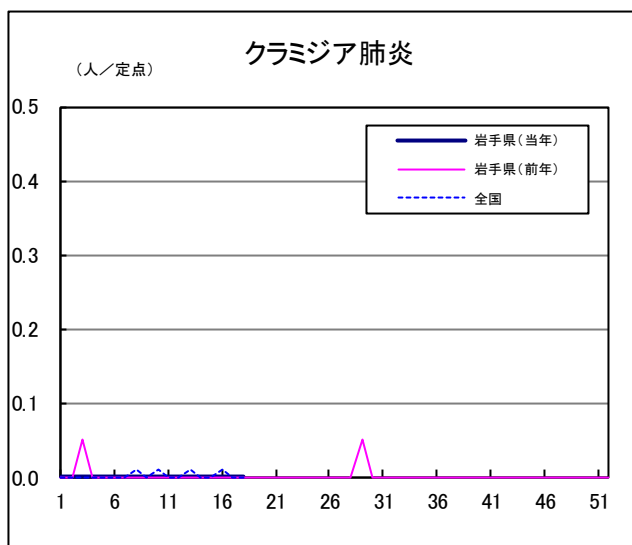
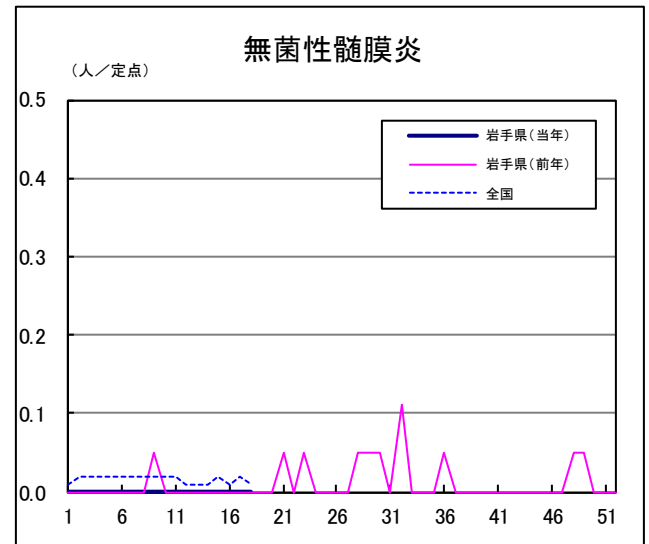
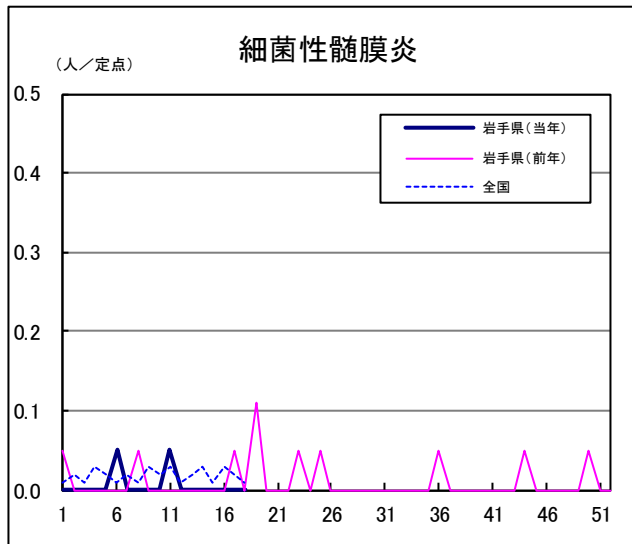
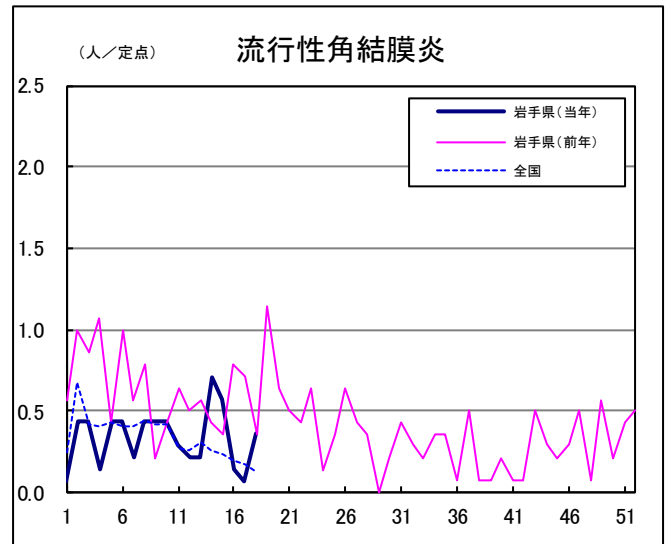
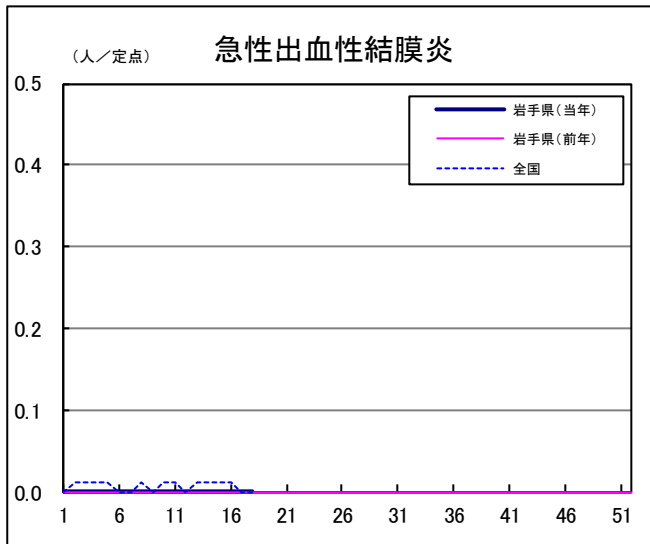
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科 定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	66	41	14	19
盛岡市	11	7	3	4
県央	9	6	2	1
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 令和2年第18週 令和2年5月12日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<https://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/1016013.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>